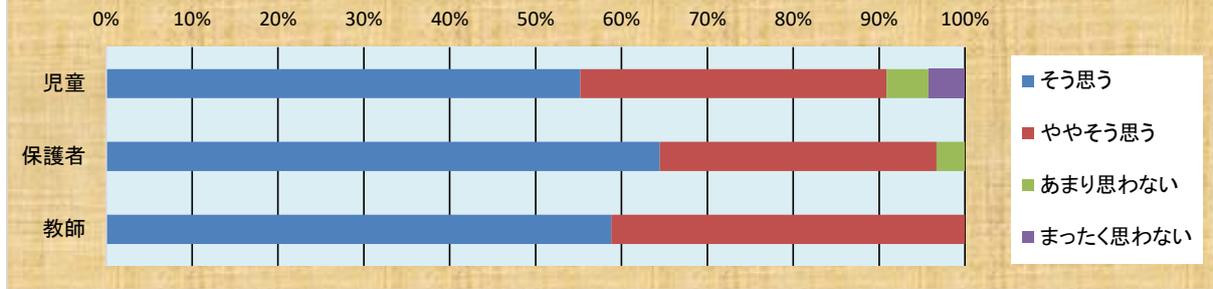


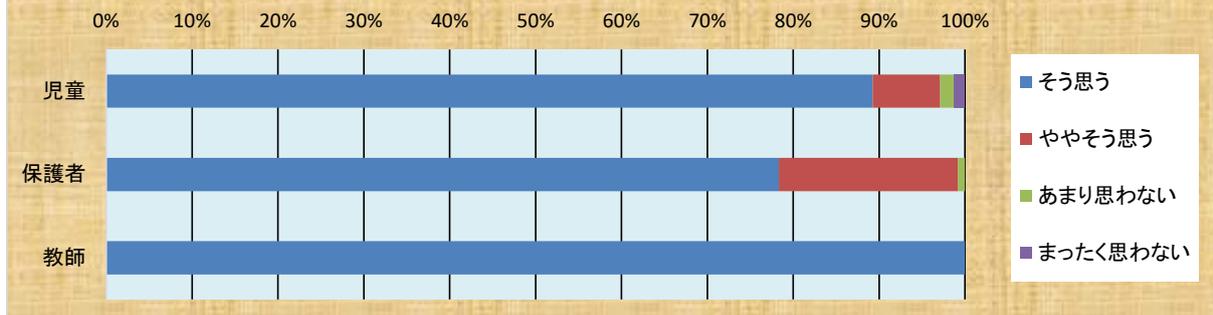
# 「学校評価・教育活動等に関するアンケート」保護者・児童・教師比較結果

## 1 学校は楽しいですか



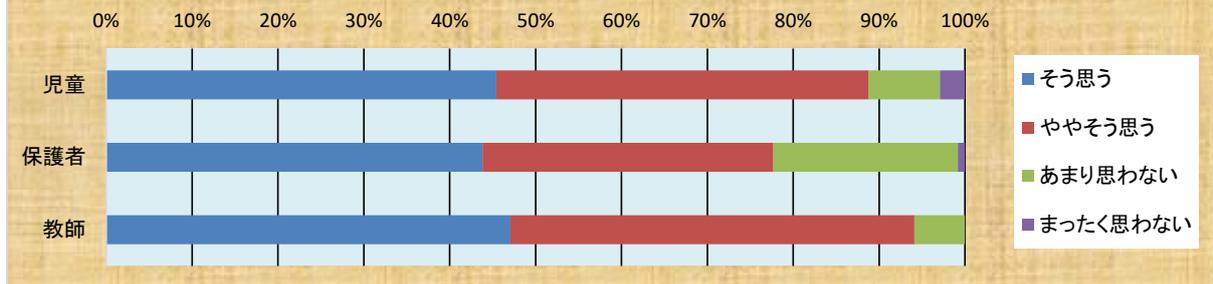
「そう思う」「ややそう思う」と回答をした児童や保護者が9割を超えている。反面「まったく思わない」と回答した児童が各学年数人いる。全ての児童が楽しく学校生活が送れるように、にSST(ソーシャルスキルトレーニング)の全体指導と、個別の丁寧な見守りを行い、友達やクラスとの良いかかわり方に繋げていきたい。

## 2 学校目標の「みんなが行きたくなる笑楽校」合い言葉「やってみる」「笑ってあいさつする」「助け合う」を知っていますか



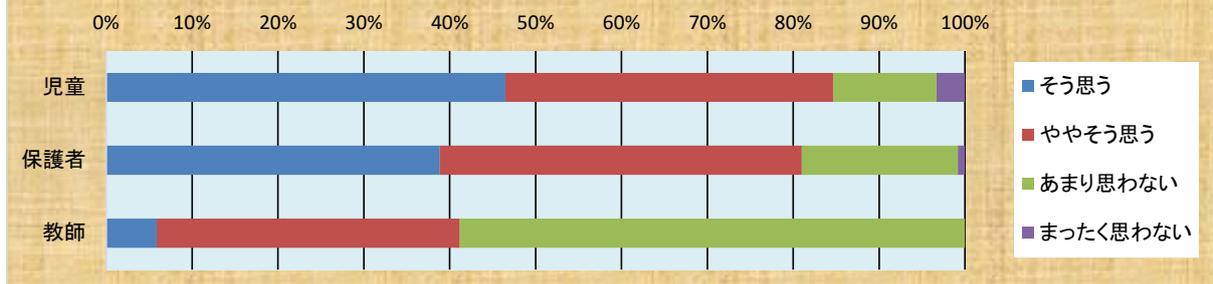
昨年と比べると、児童も保護者も「そう思う」との回答が約1割程度増加した。機会があるたびに児童や保護者に呼びかけてきたことが、大きな要因だと考えられる。今後も子どもたちが学校目標を意識して行動できるように、全職員で機会があるごとに呼びかけを続けたい。

## 3 いろいろなことをやってみようとしていますか



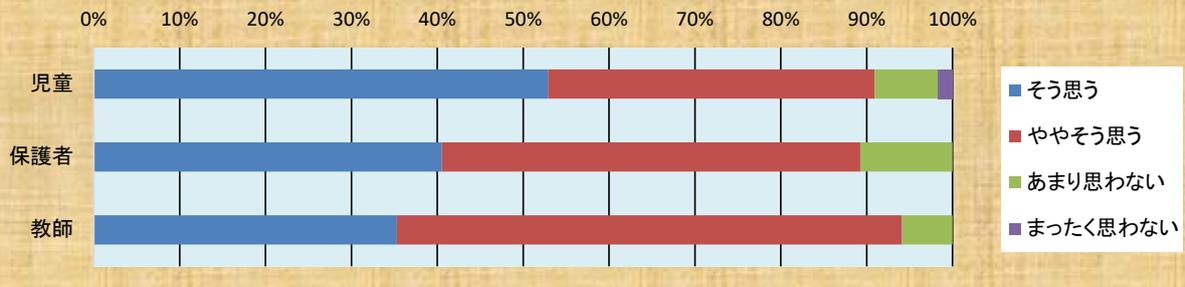
昨年に引き続き、約9割の児童が前向きに取り組んでいることがわかったが、高学年になるにつれて割合が低下している。子ども一人ひとりに対し、できたことを認める指導を心がけ、やってみようとする心を育てていきたい。

## 4 あいさつができていますか



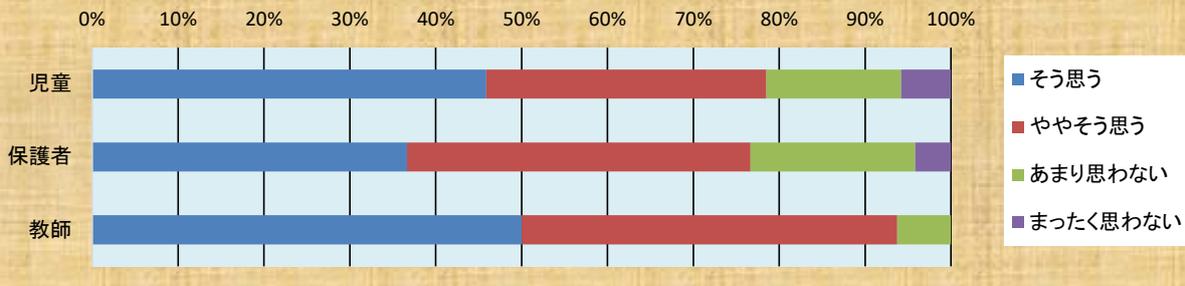
8割の児童・保護者が「できている」と回答しているのに対し、「あまりできていない」と回答している教師が約6割を示し、本校の課題といえる。毎月第3水曜日をあいさつ運動の日として、PTAでもボランティアや地域サポーターにも呼びかけている。「おはよう」や「こんにちは」だけでなく、始業時の「お願いします」や「ありがとうございました」など、場に応じたあいさつが正しくできるように、支援を続けていきたい。

## 5 友だちと助け合っていますか



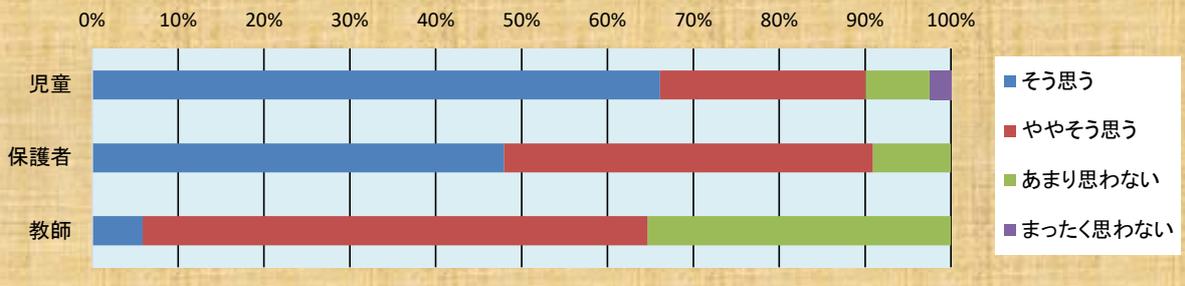
昨年度に引き続き、約9割の児童、保護者、教師が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。皆で助け合って学校生活を送っていることがうかがえる。「やわタイム」などのSST(ソーシャルスキルトレーニング)を通して友達と関わる機会やいろいろ協力していく機会が増え、助け合いの精神が育成されていると思われる。次年度も引き続き指導を継続していきたい。

## 6 書道の時間は楽しく取り組みましたか



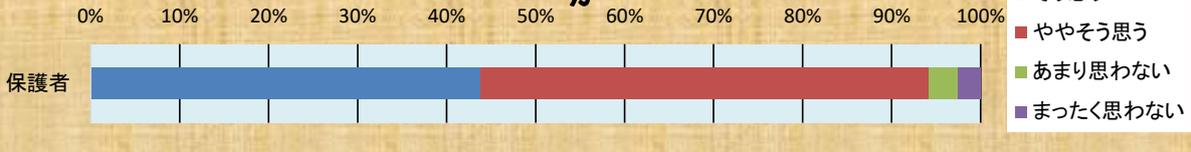
学年によって多少の差はあるが、約8割の児童は楽しく取り組むことができたと回答している。コンピュータで活字を打ち込む時代ではあるが、書のまち春日井の小学生として、継続して楽しく書に親しむ姿勢を大切にしていきたい。

## 7 健康や安全に注意していますか



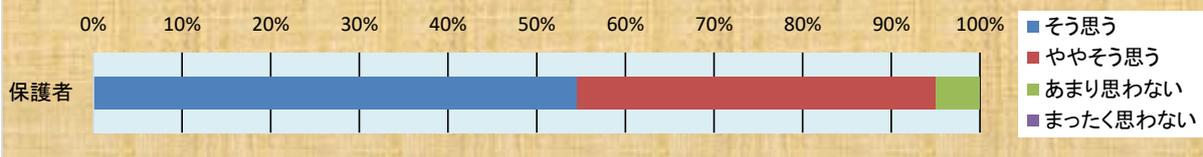
昨年度に比べると、若干数字は減少したが、9割の児童が「そう思う」「ややそう思う」と回答している。事故が起きないように取り組むことが大切なので、今後も児童の意識を高めていき、安心安全に生活できるようにしていきたい。

## 8 ボランティア活動が学校目標の達成につながるか



今年度より、地域サポーターを募集して、ボランティア活動に協力していただいた。その結果「ボランティア活動が学校目標につながると思う」という回答を多くいただいた。今後も、学校と保護者と地域が連携して学校目標の達成につなげていきたい。

## 9 学校は目標に向けて取り組んでいますか



「そう思う」「ややそう思う」という回答を多くいただいた。今後も、保護者や地域からの建設的なご意見を参考にしながら、より良い八幡小学校に向けて教育活動を進めていきたいと思う。

【学校評議委員会より】

「あまり思わない」「まったく思わない」という回答を減らすために、どのようにすればいいのかを話し合うことが必要。  
あいさつをすることを、恥ずかしがっている子もいるので、普段からみんなで元気よくあいさつをする習慣をつけさせれば、  
一人になっても自然にあいさつができるのではないか。  
校内だけでなく、登下校中でも危ない箇所があるので、関係諸機関に呼び掛けてほしい。